

平成29年度学校評価の概要

<p>平成29年度 重点目標</p>	<p>1 授業を大切にし、予習・復習等家庭学習の充実により、確実な学力を身に付け、一人一人の進路目標の実現を目指す。 2 安城東高校生としての品格（道徳心・社会性・豊かなこころ等）を重んじ、規則正しい生活習慣を身につけさせるとともに、交通安全・情報モラル等にも留意させる。 3 キャリア教育の充実を図り、進路目標達成に向けた仕掛けや工夫を分掌・学年・教科が協働して行ない、生徒一人ひとりの学力向上策を講じる。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の向上と初動体制の確認 PTAとの連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や講話から災害時の役割確認と共通理解を図る。 帰宅方法の連携を密にする。 委員会活動の充実が計れるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の防災意識向上は確認できた。国の対応も変わったため、さらにきめ細かい対応を検討する。 公開授業に多数の出席があり、概ね良い評価をいただいた。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解コースの開設へ向けての準備活動（継続） 校務支援システム活用方法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解コースの教育課程を再検討。 校内全体の教室利用状況の把握。 他の機能の活用を研究、マニュアル等の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解コース委員会を設置し、カリキュラム等の準備を行うことができた。今後はCALL教室の利用について、授業形態等を踏まえて考えていく。 他校と比べて本校は早期から導入している。お知らせ機能についてはアピールの仕方など改善が必要だと感じる。
<p>進路指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年におけるキャリア教育の充実 保護者との連携、進路実現に向けた協力体制の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事、総合的な学習の時間、面接を通して将来の明確な目標をもたせ、実現に向けて努力させる。 進路指導の方向性を伝え、理解を得る。また、進学説明会を実施し、親としての心構えを学ぶ機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、総合的な学習の時間を通して、自らの将来について考えさせ、大学について興味を深めさせることができた。 進路事業には全保護者の理解を得て、全校体制で取組むことができた。 第3学年及び第2学年の説明会には多数の保護者が参加した。
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する意識の向上 いじめ防止対策の推進と徹底 自律ある生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 危険場所等の情報提供と登下校時の交通安全指導。 担任による個人面接やアンケートにより早期発見を図る。 落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の結果、事故件数が若干減少したが、区域別指導の必要性を感じた。 全職員が目配り、必要に応じて個別対応を行った。一方でさらなる保護者との連携必要であり、家庭と学校が協働して取り組める体制が望まれる。 大半の生徒は規則正しい学校生活を送ることができた。
<p>保健厚生部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃の徹底 相談活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「きれいが一番」をスローガンとし、全校体制で取り組む。また、不特定多数が使用する場所の清掃を徹底する。 担任会、AMI調査等を通して、早期発見と早期対応を図る。また、SCとの連携をより密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が清掃活動に取り組み、清掃状況は良好であった。清掃チェックは、担任により適切に行われた。 健康観察や保健室利用状況等を基に、関係者が連携をとることができた。 SCとの打ち合わせを事前、事後に実施し、具体的な情報交換を行い、きめ細かい助言を受けることができた。
<p>特別活動部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の充実 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙や議会を開催し全校生徒の参加意識を高める。 ボランティア活動の推進。 点検を行い環境整備をする。 時間を有効活用させ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部で議題を提案し、積極的に活動した。PTA、部活動と連携した清掃活動を実施。広報誌は具体案を検討中。 器具等の修理、更新が進み、充実。 少ない活動時間を有効活用できた。挨拶がもっと大きな声でできると良い。
<p>ユネスコ・国際教育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解教育の充実 ユネスコスクールとしての活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会など適切な情報発信と通信紙等の紙面内容の充実。 現在の取り組みを継続させ、内容の充実を図る。またPTAや部活動と連携して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学生を囲む会には多数参加があり、積極的に留学生との交流ができた。 海洋ごみについての講演会を実施。環境問題に対して認識を新たにした。 ボランティア活動にPTAとさらなる連携が図れるよう検討していきたい。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
図書部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館書籍の整理と廃棄処理 来室者数増加を目指した広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> 分類番号に基づいた書架の整理と廃棄整理。 読書週間中の5分間の朝の読書を取り入れる。 図書選定委員会の回数増加と図書館だよりの定期的発行。 	<ul style="list-style-type: none"> 書籍の廃棄処理、書籍配置の見直し、分類番号順整理を行うことができた。 朝の読書の代替として、各教室に書籍5冊を学級文庫として設置した。 選定委員会を年間5回行い、タイムリーに書籍の選定を行うことができた。 図書館だよりを定期的に発行し、生徒の関心も高かった。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 安城東高生としての生活の基礎・基本の確立 適切な類型選択 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動の徹底と部活動への積極的参加、教科別質問会の実施 講演会の実施と進路だよりの発行、個人面接の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 不注意遅刻はほとんどなかったが、5分前指導は雨天時等に多く、状況を考えて行動できるように指導したい。 質問会を継続して実施できた。 進路だよりは第9号まで、ニュース記事のプリントも31部配付し、進路を考えるための情報提供を行った。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある生活を送り、社会性を身に付ける。 進路目標を明確化し、進路希望実現のための学力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 昇降口指導と学年集会などを通じた校則の徹底。 集団の一員としての意識付ける。 早めの具体的な進学先決定。 計画的な学習習慣。 学習時間調査のフィードバックと家庭学習の時間確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣上の不規則な生徒もいる。携帯の利用の仕方が影響を与えている。適切な利用法を指導していきたい。 受験生としての意識は徐々に向上。進路希望実現のために具体的な方法を考える機会を設けていきたい。 計画的な学習については学年で統一した指導を徹底する必要を感じた。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分を律し、人を思いやる心を育成する。 進路目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前登校による遅刻減少と交通安全指導。 責任感、連帯感、積極性を持ち明るく、挨拶ができる人を育てる。 様々な場面で進路目標を明確化し、意欲を高めさせ、段階別の指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前登校指導を継続したが、11月以降に増加してしまった。 様々な面で、上級生としてリーダーシップを発揮できた。 継続的に努力する姿勢が見られ、学習時間の目標は概ね達成できた。 土曜日講座等で多数の選択講座を用意し、多様な進路希望に対応した。
総合評価	<p>各分掌・各学年が重点課題を掲げて課題解決に向けて取り組み、多くの点で成果を収めた。主な具体例として以下のことが挙げられる。交通安全指導においてはPTAの協力も得て登下校時の安全指導を行った。自転車のマナーについて地域の方々から厳しい御指摘を受けることもあったが、その都度生徒へ注意喚起を行い、少しずつではあるが改善しつつある。交通事故件数も若干減少した。各学年の発達段階に応じて、キャリアガイダンス講演会や学部学科研究等を実施し、生徒個々のキャリア意識向上を促してきた。第3学年においては自主学習会へ例年になく多数の生徒が参加した。これらの取組の成果か、平成29年度卒業生は2桁の旧帝大合格をはじめとして、国公立大学・私立大学とも目覚ましい成果を上げた。平成30年度から国際理解コースが設置されるため、分掌を越えて学校組織全体でカリキュラムの作成やCALL教室の整備計画等の準備を行ってきた。また、ユネスコスクール認定3年目となる本年度は、ESD活動の一環として「新しい地球環境問題～海のプラスチック汚染って何だ?～」と題するユネスコ国際理解講演会を開催し、生徒たちは環境問題に対する認識を新たにした。</p> <p>次年度に向けての大きな課題として、平成30年度入学生からはじまる高大接続改革、大学入試センター試験廃止に伴う大学入学共通テストへの対応が挙げられる。平成29年度には全教職員を対象に研修会を実施し、具体的対応策の検討が始まった。平成30年度以降は、これを順次実行に移しつつ、さらに情報収集・対応策の協議を欠かさないよう留意したい。</p>		